

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス すてっぷ		2026年5月30日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5/6	1/6	適切な距離を保てるようスペースを確保している。	棚の上などに上ってしまう児童がいるため怪我がないようにしたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5/6	1/6	作業療法士、保育士など専門職を配置し適切な支援に努めている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5/6	1/6	遊びや運動で使用する遊具や道具、食事や学習で使用する机など個別の状況に合わせて適切に配置している。	玄関の段差など手すりの設置を検討
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5/6	1/6	毎日の清掃を実施し、危険箇所がないかなどチェックを行っている。	感染予防・除菌は引き続き行っていく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6/6	0/6	引き戸を使って個別支援をおこなっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5/6	1/6	多くの職員が参加してモニタリングやケース会議を行っていく	共有、周知ができるように工夫する
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5/6	1/6	保護者様からの意見をもとに業務の体制や改善につなげている。	保護者様からの意見、常に傾聴できるようにしたい・送迎時や面談などで
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6/6	0/6	月例会議のなかで挙がった意見を、業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5/6	1/6	実地指導にて、指導を受けた点について業務改善を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5/6	1/6	施設内外での研修に参加する。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5/6	1/6	支援プログラムに関する専門的な研修を適切に修了した管理者が、支援プログラムを作成し保護者に同意を得ている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5/6	1/6	保護者からのモニタリングを行い、個々のアセスメントを実施することで、適切な支援計画で作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6/6	0/6	施設内モニタリングで、職員全体でこどもの全体像を把握している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5/6	1/6	全職員が閲覧できるようファイリングし、現在の支援内容や目標を共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5/6	1/6	日々の活動を観察し、アセスメントを実施している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5/6	1/6		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5/6	1/6	職員会議の中で個別の支援内容を話し合い検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6/6	0/6	運動プログラムや学習プログラムを個別の成長にあわせて組んでいる。	個別の発達や特性に合わせたプログラムを実施していく

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6/6	0/6	個別や集団を適宜用い社会性向上に向けたプログラムを実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5/6	1/6		送迎の時間差などから、業務日誌を使って情報共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5/6	1/6	支援終了後に、気づき点は業務日誌に記録し、職員間で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6/6	0/6	日々の経過記録を残し、モニタリング時に利用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6/6	0/6	利用児の観察、保護者の聞き取りを行いモニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5/6	1/6		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6/6	0/6	活動の中では本人の好きな遊びや活動が選択できる環境を設定している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6/6	0/6	管理者が関係機関と連携をとりながら支援を実施している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5/6	1/6		医療情報は保護者を通して確認している。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6/6	0/6	送え時に、学校の先生より申し送りを受け、一日の様子を確認し支援している。	情報交換会などに参加し学校との連携が図れるようにしていきたい
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6/6	0/6	児同発達施設や保育園、幼稚園等と連絡をとり、情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6/6	0/6		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6/6	0/6	鹿沼市のこども部会内にて、研修を実施し受講している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5/6	1/6		特別に地域のこどもと活動する機会は設けていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5/6	1/6	管理者が協議会の役員として参加している。	自立支援協議会(こども部会)引き続き参加していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5/6	1/6	連絡帳や帰りの送りの際に、その日の様子を連絡している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5/6	1/6	夏休みに保護者を対象とした見学会を実施している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6/6	0/6	契約時やモニタリング時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6/6	0/6	適宜保護者の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6/6	0/6		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6/6	0/6	適宜保護者との情報を共有することで適切な支援に努めている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5/6	1/6	長期休みの時(夏季休暇)におこなった家族交流イベントは好評であり、兄弟児も踏まえ楽しんでいただけた。	今年度も企画していく。兄弟支援、についても配慮をしていく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6/6	0/6		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6/6	0/6	毎月のお便りにて子どもの活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6/6	0/6	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意を得ている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6/6	0/6		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6/6	0/6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5/6	1/6	各マニュアルを策定している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6/6	0/6	業務継続計画（BCP）を策定し、避難訓練を年2回実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5/6	1/6		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6/6	0/6		母親からの聞き取りを行っている。適切な食事(おやつ)の提供を行う
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6/6	0/6		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6/6	0/6	保護者の緊急連絡先を確認し、安全に支援できるよう努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6/6	0/6	職員によるヒヤリハットをもとに安全対策を実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6/6	0/6	施設内外での虐待研修を受講している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6/6	0/6		権利擁護・虐待防止委員会による会議を行っている